

氏名	鈴木英之
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 4691 号
学位授与の日付	平成25年 3月25日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科病態制御科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)

学位論文題目	Specific endoscopic features of ulcerative colitis complicated by cytomegalovirus infection (サイトメガロウイルス感染を合併した潰瘍性大腸炎の特徴的な内視鏡像)
--------	---

論文審査委員	教授 藤原 俊義 教授 山田 雅夫 准教授 水島 孝明
--------	-----------------------------

学位論文内容の要旨

サイトメガロウイルス(CMV)感染を合併した潰瘍性大腸炎(UC)の特徴的な結腸内視鏡像を明示することを目的とした。症状悪化のため入院した UC 患者のうち CMV 陽性患者 15 人、陰性患者 58 人の内視鏡像を比較検討した。CMV アンチゲネミア陽性をもって CMV 感染と定義し、5 つの粘膜所見(血管透見消失・発赤・粘膜浮腫・易出血性・粘液付着)と 5 つの潰瘍所見(広範粘膜脱落・打ち抜き潰瘍・縦走潰瘍・不整潰瘍・敷石状変化)につき解析した。粘膜所見では血管透見消失、浮腫、発赤は高い感度を、易出血性、粘液付着は高い特異度を示した。潰瘍所見では不整潰瘍の感度は陽性例で 100%であり、広範粘膜脱落、敷石状変化は高い特異度を、打ち抜き潰瘍、縦走潰瘍は比較的高い感度・特異度を示した。単変量ロジスティック解析では、粘膜所見では易出血性が、潰瘍所見では広範粘膜脱落、打ち抜き潰瘍、縦走潰瘍、敷石状変化が、陽性例でより認められる結果であった。CMV 感染を合併した UC の特徴的な内視鏡像は早期診断治療に有用と思われる。

論文審査結果の要旨

本研究は、潰瘍性大腸炎 (UC) に合併したサイトメガロウイルス (CMV) 感染の特徴的な結腸内視鏡像を明らかにすることを目的とした後ろ向き研究である。CMV アンチゲネミア陽性を CMV 感染として、粘膜所見、潰瘍所見について解析した。単変量ロジスティック解析で、粘膜所見では易出血性が、潰瘍所見では広範粘膜脱落、打ち抜き潰瘍、縦走潰瘍、敷石状変化が、CMV 陽性例でより多く認められた。CMV 感染を合併した UC の特徴的な内視鏡像は早期診断、早期治療に有用であるという意味で、本研究は価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。